

令和7年度 第31回日本介護福祉教育学会開催要項
第1報(案)

1. テーマ

学生の多様性に応じた介護福祉士養成教育の実践と今後の教育の在り方とは
～多様化する学生やDX化が進む介護現場に即した養成教育の将来像～

2. 趣旨

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎えた今、高齢者が大幅に増える一方で働き手は減少しているため、多くの福祉施設では人手不足が深刻化している。また、介護福祉士養成施設の入学者数についても介護人材の不足と比例して深刻な減少傾向にある。

昨今の入学者の特徴として、日本人学生においてはコミュニケーションや学習に何らかの課題を抱える者が一定数存在する。また、社会人経験を有する職業訓練生をはじめとした幅広い世代の学生が在籍しており、さらには諸外国からの留学生が急増するなど、養成教育の現場においては学生の「多様化」が顕著に進行している。そのため、こうした多様な背景を持つ学生に対して、如何に効果的な教育を実践するかが大きな課題となっている。

現在の介護福祉士養成課程において学生が苦手意識を抱きやすい分野の一つとして、介護実習における「実習記録」が挙げられる。中でも在籍者の多くを占める留学生にとっては、実習で学習したことを日本語の文章で表現することに対する負担が大きく、依然として多くの養成施設で続いている紙媒体での指導体制の限界を感じさせられる場面も生じている。

一方、介護現場では、近年の人材不足の解消を目的として外国人材を積極的に受け入れる動きが広がっており、業務の効率化を図る中で、ITを活用した介護記録の導入など、DX(デジタルトランスフォーメーション)化が急速に進展している。

本学会では、こうした社会的・教育的変化に対応した養成教育の在り方を模索することを目的に、「学生の多様性に応じた介護福祉士養成教育の実践と今後の教育の在り方とは」をテーマとして掲げ、「サイエンス・コミュニケーション」など、他分野からの知見も積極的に取り入れながら、現在の養成教育の課題を省察し、刻々と変化する介護福祉業界の現状に即した指導方法について、多角的な視点から考察する機会とする。

3. 日時

令和7年9月12日(金) 9時30分～16時00分

4. 会場

国際医療福祉大学(成田キャンパス)

〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3

アクセス <https://narita.iuhw.ac.jp/access/index.html>

5. 主催

日本介護福祉教育学会

6. 後援（予定）

厚生労働省・文部科学省・日本介護学会・日本社会福祉教育学会・千葉県・成田市・千葉県社会福祉協議会・千葉県高齢者福祉施設協会・千葉県介護老人保健施設協会・千葉県介護福祉士会・成田市社会福祉協議会・国際医療福祉大学

7. 主管

日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック実行委員会、
千葉県介護福祉士養成校連絡協議会

8. 参加費

参加費：会員 10,000 円・非会員 11,000 円・当日申込 12,000 円

9. プログラム（予定）

●開会式
●基調講演 テーマ：「検討中」 講 師：同志社大学 生命医科学部 サイエンスコミュニケーター養成副専攻 特別客員教授 元村 有希子 氏
●シンポジウム テーマ：「多様化する学生や DX 化が進む介護現場に即した養成教育の在り方とは」 シンポジスト・コーディネーター：調整中
●分科会 研究発表テーマ 第1分科会 留学生指導の実際 第2分科会 多様化する学生像に応じた教育実践 第3分科会 介護現場の DX 化に即した養成教育の在り方 第4分科会 養成教育と介護現場をつなぐ実習指導の在り方 第5分科会 その他養成教育全般
●閉会式